

平成23年度 決算の概要



2011

総括

歳入のうち市税は、個人市民税が減少したものの、企業業績の回復による法人市民税の増加や他の税目の増加により、対前年度比1.3%の増となりました。また、地方交付税は3.6%の減、市債は、対前年度比52.2%の増となっています。

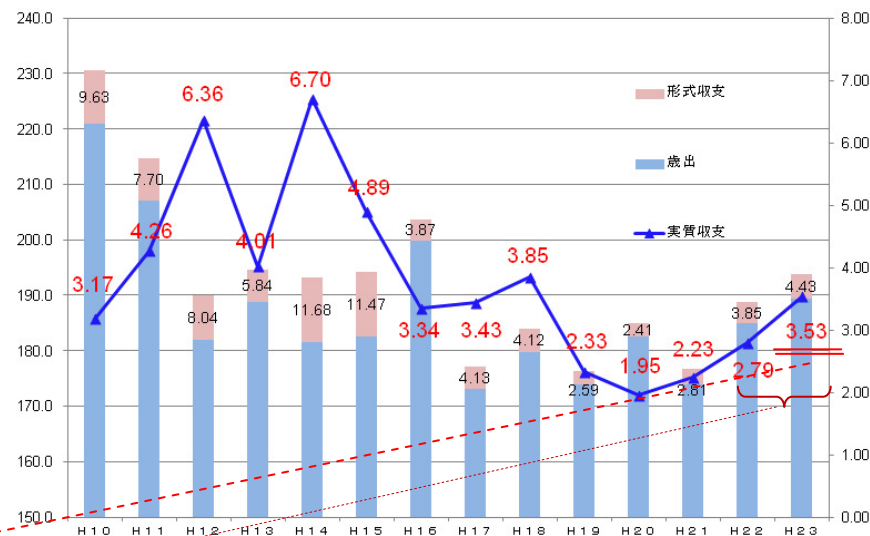
歳出では、北播磨総合医療センター建設にかかる出資金や、福祉総合支援センターの建設などの継続事業だけではなく、安全安心まちづくり広場の整備、やすらぎ広場の整備、セレモニーホールの整備などの新規事業も積極的に取り組みました。また、自治会館等を利用した高齢者等地域活動拠点づくりモデル事業、学校等空調設備の整備、太陽光発電設備設置助成、新都市中央線の整備など、「安全安心」「子育て支援・教育」「地域の活性化」「都市基盤整備」に重点を置き事業を展開しました。

歳入歳出差引額(形式収支)は4億4,279万9千円。この額から翌年度へ繰り越すべき財源 8,985万5千円を差し引いた実質収支は、3億5,294万4千円で、この内、財政基金条例の規定により 1億8千万円を積み立て、その残額 1億7,294万4千円を平成24年度へ繰り越しています。

区分 会計別	平成23年度					
	歳入 (増減率)		歳出 (増減率)		差引 (形式収支)	実質収支
一般会計	19,380,758	+2.7%	18,937,959	+2.4%	442,799	352,944
国保会計	5,331,601	+3.8%	5,247,046	+3.6%	84,555	84,555
介護保険会計	3,011,100	+4.9%	2,970,988	+4.5%	40,112	29,112
後期高齢者医療会計	385,085	+3.3%	377,498	+3.1%	7,587	7,587
特別会計合計	8,727,786	+4.1%	8,595,532	+3.9%	132,254	121,254
合計	28,108,544	+3.1%	27,533,491	+2.9%	575,053	474,198

◆決算額の推移

(単位：億円)



●一般会計における実質収支は3年連続の増となる約3億5,000万円を確保。

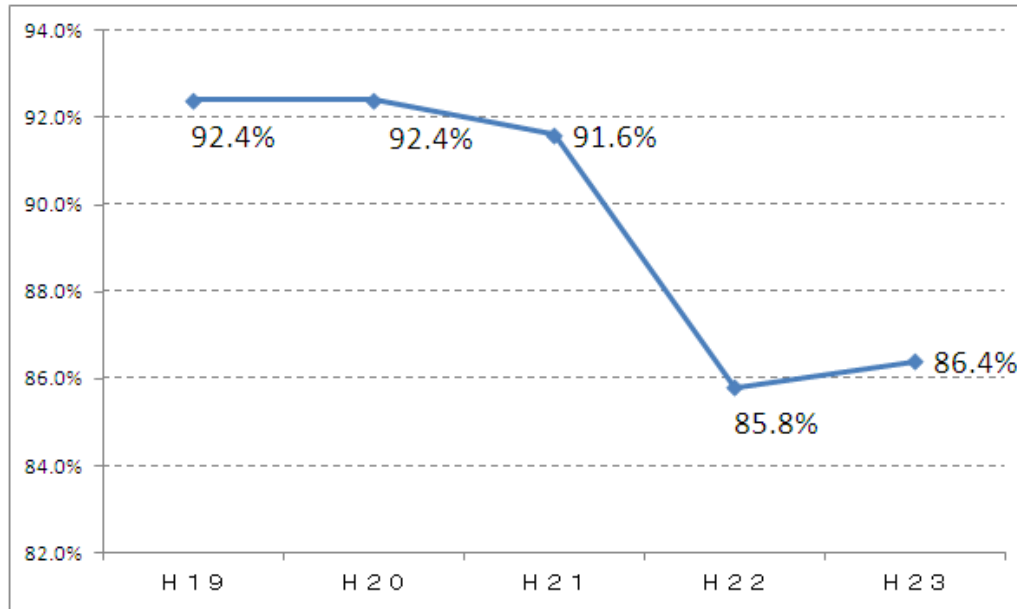
●単年度収支から財政調整基金の取崩や積立、繰上償還金を除いた実質単年度収支は、約8,900万円です。2年連続の黒字。

[実質単年度収支： 単年度収支 (3.53億円 - 2.79億円) + 積立金 0.15億円 + 繰上償還金 (0) - 積立金取崩額 (0) = 0.89億円]

●全特別会計においても黒字決算。

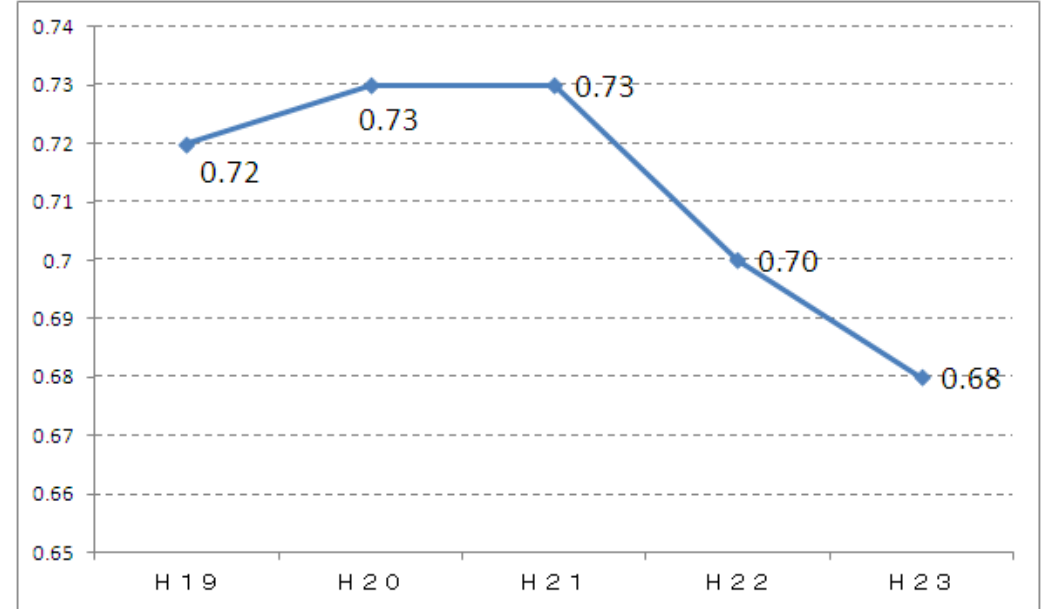
経常収支比率・財政力指数の推移

◆経常収支比率の推移



- 経常収支比率とは、経常経費に充当された一般財源を経常的に収入される一般財源で除した比率です。
- 財政構造の弾力性を示すもので、比率が高いほど財政の硬直化が進んでいることになります。
- 地方交付税や臨時財政対策債の減、地方議会議員年金制度の廃止に伴う議員共済会負担金の増等により0.6ポイントの増となりました。

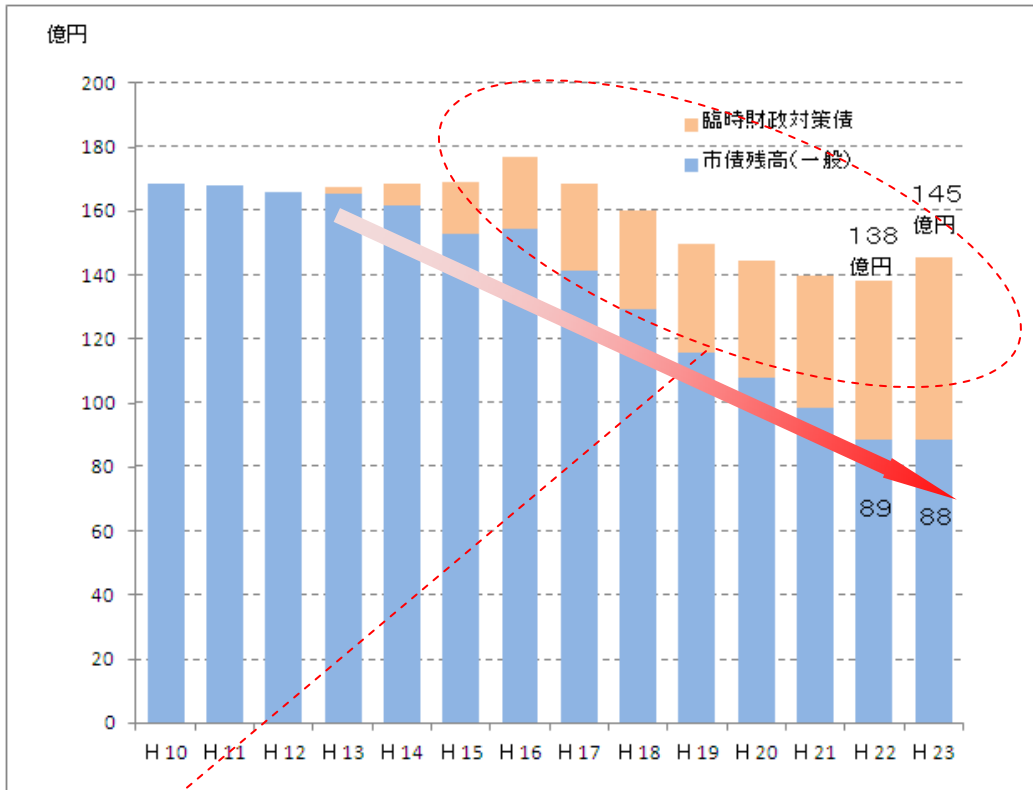
◆財政力指数の推移



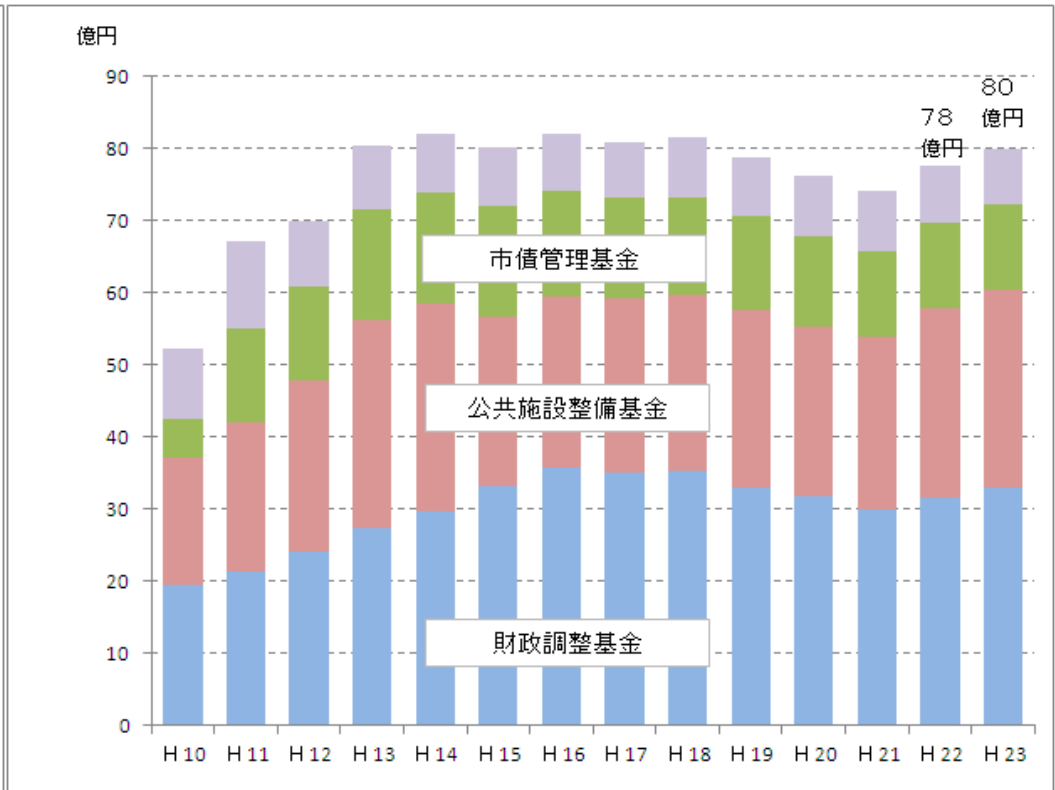
- 財政力指数とは、基準財政収入額を基準財政需要額で除した指数(3ヶ年平均)です。
- 市の財政基盤の強弱を示し、指数が高いほど財政基盤が強いことになります。

地方債残高・基金残高の推移

地方債残高



基金残高



- 臨時財政対策債は後年度に国（地方交付税）により全額補てんされます。
- 臨時財政対策債を除いた一般的な市債残高は更に減り 88 億円となりました。
- 基金残高は将来の施設整備を見据え公共施設整備基金へ約 2 億円を積立。歳出の抑制等により財政調整基金を取崩すことなく全体で約 80 億円を確保。

財政健全化指標

(単位:%)

	2008	2009	2010	2011	判断基準	
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	14.2	13.7	13.1	12.2	25.00	35.00
将来負担比率	5.9	1.4	△18.9	△19.0	350.00	—
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	13.17	20.00
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	18.17	30.00

※数値が低いほうが良好な値を示しています。判断基準の数値をオーバーすると財政健全化計画などを作成し自主的な改善が義務づけられます。

- 公営企業会計や一部事務組合にかかる公債費の減等により実質公債費比率は0.9ポイント向上。
- 昨年度県下初のマイナスとなった将来負担比率も更に0.1ポイント向上。
- 4つの指標全てにおいて健全化団体の基準を大きく下回り、良好な数値を維持。

企業会計の状況

(単位：万円)

区 分		23年度			22年度	収支増減	(参考)		
		歳 入	歳 出	差 引	差 引		一般会計繰入金(23年度)	一般会計繰入金(22年度)	繰入金増減
都市開発 事業会計	収益的収支	7,561	7,374	187	32	155	—	—	—
	資本的収支	3,330	9,722	—	—	—	—	—	—
病 院 事業会計	収益的収支	38億4,515	39億8,342	△1億3,827	△1億891	△2,936	6億4,887	6億5,087	△200
	資本的収支	2億5,324	4億6,930	—	—	—			
水 道 事業会計	収益的収支	12億1,002	10億9,986	1億1,016	1億1,926	△910	130	130	0
	資本的収支	2億3,979	7億7,297	—	—	—			
下 水 道 事業会計	収益的収支	11億9,032	14億7,946	△2億8,914	△3億790	1,876	9億9,300	10億6,900	△7,600
	資本的収支	10億7,753	14億4,405	—	—	—			
合 計	収益的収支	63億2,110	66億3,648	△3億1,538	△2億9,723	△1,815	16億4,317	17億2,117	△7,800
	資本的収支	16億386	27億8,354	—	—	—			

※ 企業会計における資本的収支の不足額については、過年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金等で補填。